# 脳神経内科
Neurology

## 外来受付
２階１５番
[ 初診：月～金 / 受付午前９時～午前１０時３０分 ]
専門外来の受診を希望される場合は、まずは担当医もしくは他の初診を受診してください。

詳細はこちら

診療科部長、教授
いとう　よしあき
**伊藤　義彰**



専門
脳神経内科、脳血管障害、認知症、頭痛

## スタッフ

副
つじ　ひろし
准教授　**辻　浩史**
【専門】脳神経内科、パーキンソン病、変性疾患

たけだ　あきとし
講師　**武田　景敏**
【専門】脳神経内科、高次機能障害、認知症

はせがわ　いつき
講師　**長谷川　樹**
【専門】脳神経内科、パーキンソン病、認知症

おかもと　こうすけ
病院講師　**岡本　光佑**
【専門】脳神経内科、脳卒中

あおはら　けんた
病院講師　**青原　健太**
【専門】脳神経内科、神経免疫

## 診療科の特徴
脳神経内科は、脳、脊髄、末梢神経、筋を障害する疾患を扱う部門で、脳神経外科とは対称的に内科的な治療（薬剤による治療）を専門に行います。脳を障害する疾患には、認知症、てんかん、頭痛など、最近になり原因となる疾患の病理、病態、分子機序が明確となったものが多く含まれ、これらは脳神経内科で診療します。

当科は、小児神経疾患からの移行症例など若年性疾患を診療している一方、認知症、パーキンソン病などの高齢者も多く診療しており、対象年齢は幅広く対応しています。また脳卒中やギランバレー症候群のような急性発症で緊急を要する疾患から、生涯にわたって加療を要する慢性難治性疾患まで対応しています。

特に重点となる診療として、

1. 認知症疾患医療センター：大阪市からの委託業務で市の南部医療圏における認知症の診断、治療、地域医師会との連携会、市民公開講座などを担当しています。
2. 難病連携拠点病院:大阪府からの委託事業で、神経難病を中心として、希少疾患、難病の診療、地域連携を担っています。
3. 脳卒中 PSC（一次脳卒中センター）：脳梗塞急性期における血栓溶解療法、血管内血栓回収療法や、脳出血、くも膜下出血など急性期治療を引き受けています。

## 対象疾患
**[主力疾患]**

1. 脳卒中
2. 認知症（アルツハイマー病、脳血管性、レビー小体型認知症、前頭側頭型認知症）
3. 変性疾患（パーキンソン病、脊髄小脳変性症、多系統萎縮症、筋萎縮性側索硬化症）
4. 機能性疾患（片頭痛、緊張性頭痛、群発性頭痛、てんかん、書痙、斜頸）
5. 神経免疫疾患（多発性硬化症、視神経脊髄炎、急性散在性脳脊髄炎、ギランバレー症候群、慢性炎症性脱髄性多発ニューロパチー、重症筋無力症、筋炎）
6. 感染症（脳炎、髄膜炎）

**[対応できる疾患]**

1. 遺伝性神経難病（ハンチントン病、周期性四肢麻痺、痙性対麻痺、各種の筋ジストロフィー、ファブリー病、ウィルソン病、瀬川病、神経線維腫症Ⅰ型・Ⅱ型、もやもや病、ミトコンドリア病、家族性アミロイドポリニューロパチー、シャルコー・マリー・トゥース病、皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症）
2. その他の神経難病（好酸球性多発血管炎性肉芽腫症、クロウ・深瀬症候群、進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症、クロイツフェルトヤコブ病、進行性多巣性白質脳症）

## 主な診療実績
筋生検　7 件

## ご紹介時のお願い
初診予約は診療情報提供書（診察予約申込書）に必要事項をご記入の上、地域医療連絡室へ FAX にてお申込みください。